

西大芦・東大芦地区合同

人口	男	女	計	世帯数	世帯
西大芦	312人	368人	680人	西大芦	298世帯
東大芦	1,411人	1,444人	2,855人	東大芦	1,013世帯
計	1,723人	1,812人	3,535人	計	1,311世帯

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 大芦川創生事業

・臨時駐車場・トイレ・ごみステーション運営事業【観光】

新たな臨時駐車場の設置・運営

仮設トイレの設置・管理

有料ごみステーションの設置

臨時駐車場・仮設トイレ設置管理運営費

・マナーアップ事業【観光】

観光客に向けた啓発チラシ・指導文書(貼り紙)の作成・配布

河川パトロールの実施

地域外からのボランティアの募集

ビブス購入、防犯カメラ設置

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	—	—	—	661,602	661,602
その他補助金	—	—	—	—	0	0
自己資金	—	—	—	—	1,565	1,565
計	—	—	—	—	663,167	663,167

【支出(円)】

事業No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	—	—	—	663,167	663,167
計	—	—	—	—	663,167	663,167

《事業への取り組みを振り返って》

令和2年、天王橋、宇穴橋から河川への飛び込み事故を未然に防ぐために、鹿沼警察署が中心になり県鹿沼土木事務所、鹿沼市、東大芦・西大芦自治会による、大芦川安全対策会議が発足しました。

市が防護用のネットを張り、飛び込み禁止策を行うも、破かれては修正するイタチごっこでした。川遊び客等が捨てていったゴミや、排泄物が地域のいたるところに散見する始末。収集作業も地域では対応できないレベルにまで至ってしまいました。

路上駐車も増えて、お盆の時には迷惑駐車により、緊急車両が通れない事態になりました。市議員3人が9月議会で課題解決策を訴え、その後市職員による大芦川創生プロジェクトチーム(以下 PT)が発足しました。

今年度はPTと地域住民と共に、啓発活動、ゴミ拾い活動、臨時駐車場と仮設トイレの設置運営、に取り組みました。

有料のゴミステーションについては、皆で協議をした結果、「持ち帰り」に徹することにしました。

本事業は同じ課題を抱える2地区が、目的を一つにそれぞれの地区が地域全体で協力して取り組むきっかけにもなったことは、大きな意義があると思っております

今後も、地域住民の安心した生活の確保と大芦川の清流を守る為、地域課題の解決に向けた取り組みを続けていきたいと思っております。

《東大芦地区コミュニティ推進協議会 寄川良一会長からお礼の言葉》(抜粋)

今年度は、大芦川のごみ投棄や迷惑駐車といった長年の地域課題に対し、大芦川創生プロジェクト事業によりお力添えいただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

特に、天王橋の飛び込み防止ネットの設営や、河川パトロールにおいて職員の皆さんが骨身を惜しまずご尽力下さったことに対し、地元の皆さんから感謝とお礼の言葉が多く聞かれました。

また、職員の皆さんとの協働により地域全体が当事者意識を持ち、課題に向き合えたことは、より良い地域の未来を住民自らつくる機運を醸成するうえで、大変重要な経験であったと考えます。

来シーズンは、これらの経験を活かし、課題解決に向けた地域体制を更に強化してまいりたいと思っておりますので、大芦川創生プロジェクトの皆様には今後ともご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

《西大芦地区自治会協議会 矢野隆幸会長からお礼の言葉》(抜粋)

この事業を東大芦地区と共に、地域の課題解決策に取り組むための取り掛かりとして活用させていただき感謝申し上げます。当地区は加速的な人口減少と少子高齢化が進み、大芦川の清掃等、現状維持の事業を行うのが精いっぱいでした。

今年度は、大芦川創生プロジェクトチームの皆さんの多大な協力があり、臨時駐車場と仮設トイレの設置及び管理運営を、地域を挙げて実施できたことに感謝しております。

次年度以降も継続した取組みができる様、ご協力をお願い申し上げます



声かけパトロールを
しながらゴミ拾い



事故防止のため
飛び込み禁止を
呼びかけ



川遊び客等の
ゴミ投棄は
後を絶たず…



路上駐車対策、ゴミ・排泄物対策として臨時駐車場と仮設トイレの設置や
注意看板等の設置、河川パトロールなど、地域と行政が協働して活動